

A vertical image on the left side of the slide shows two hands, one from a lighter-skinned person at the top and one from a darker-skinned person at the bottom, both holding a glowing, golden-yellow orb. The background is a solid blue color.

For New Technology Network

NTN®

**2017年3月期
第2四半期 決算説明会**

2016年11月7日

NTN株式会社

- I. 「NTN 100」の進捗
- II. 2017年3月期第2四半期決算と見通し
- III. 質疑応答

- 本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

I. 「NTN 100」の進捗

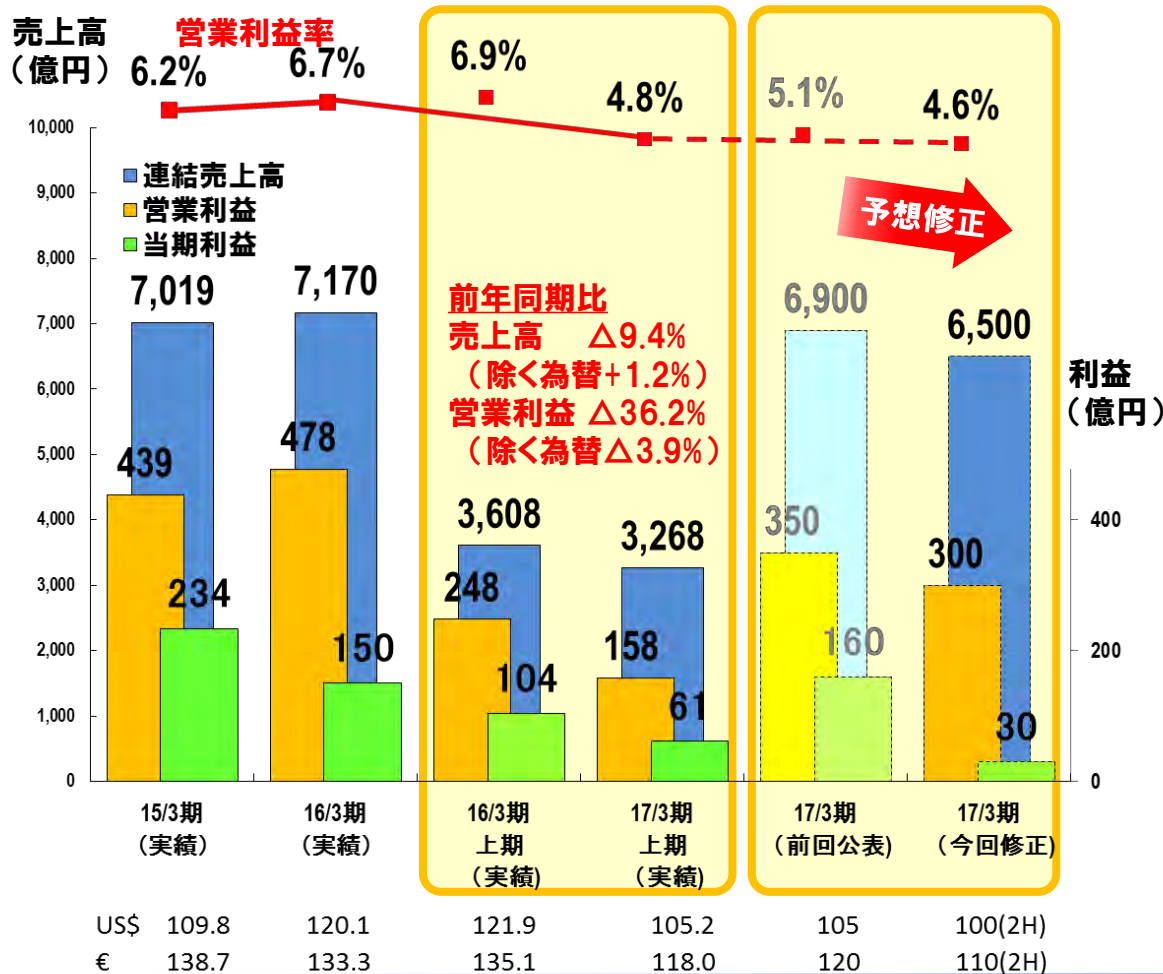
II. 2017年3月期第2四半期決算と見通し

III. 質疑応答

連結業績の推移：上期実績と通期予想

上期は前年同期比で減収減益(除く為替では増収減益)

通期は需要の低減や円高の影響、体質改善関連費用等(90億円)を想定し修正



17/3上期実績(前年同期比)

売上高: **3,268億円** (-9.4%)

営業利益: **158億円** (-36.2%)

営業利益率: **4.8%**

当期利益: **61億円** (-41%)

中間配当: **5円**

17/3通期予想を修正(前回公表比)

売上高: 6,900億円
→6,500億円 (-5.8%)

営業利益: 350億円
→300億円 (-14.3%)

営業利益率: **4.6%**

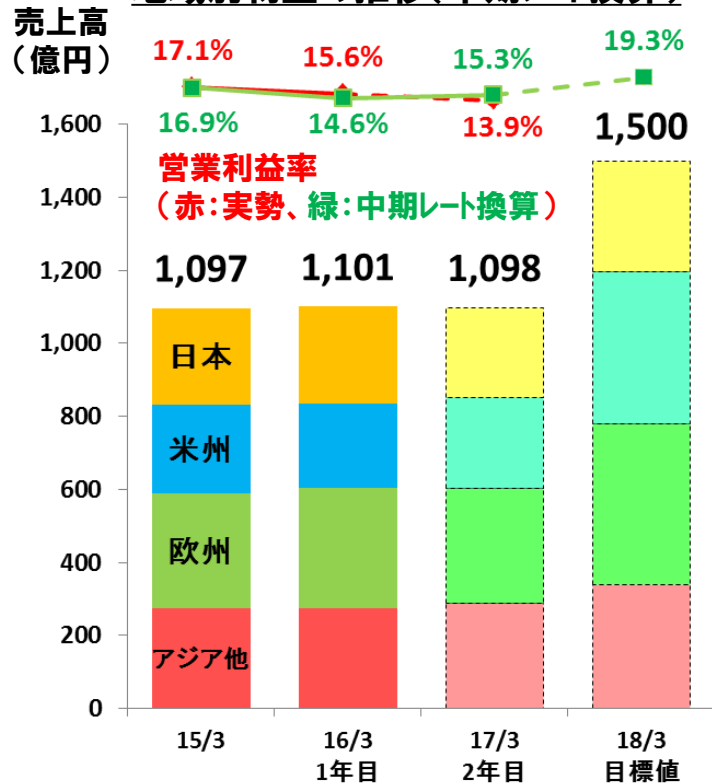
当期利益: 160億円
→30億円 (-81.3%)

年間配当: 12円 **→10円**

「NTN100」の進捗：アフターマーケット事業

＜進捗（物量ベース）＞グローバルでシェアが2桁%に到達

地域別物量の推移(中期レート換算)



日本 シェアは拡大するも需要減少で販売減

米州 産機需要が減少するも
オートパーツ拡大で販売増

欧州 オートパーツ拡大するも産機向け不振

アジア他 アジアはMRO拡販により増加
中国は大幅な需要減少を受け販売減

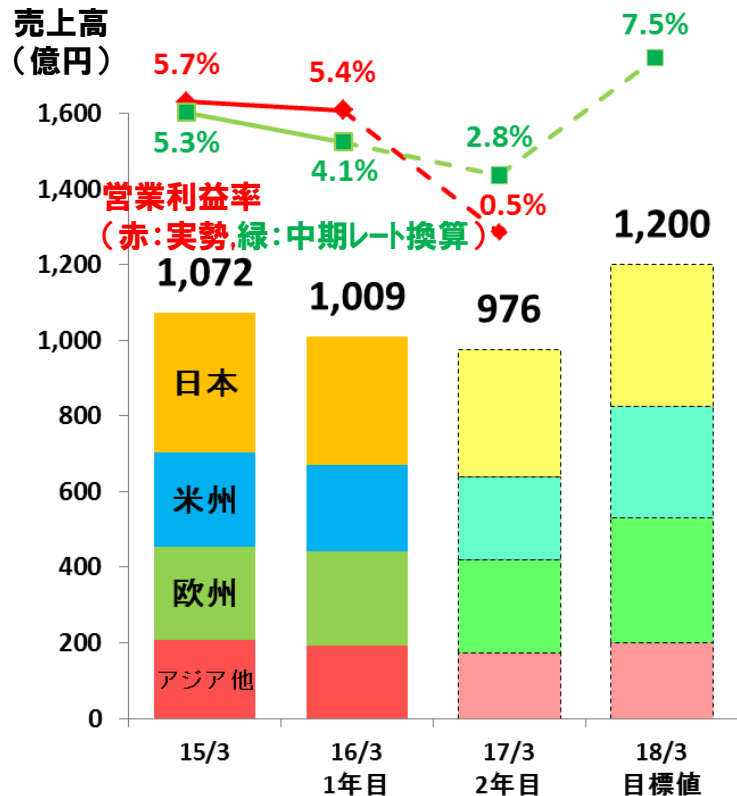
＜課題・取り組み＞

- ・ 主要市場における総需要減退に伴うベース販売の減少
- ・ 景気に左右されにくいMRO案件への取り組み強化

「NTN100」の進捗：産業機械事業

＜進捗（物量ベース）＞主要業種で回復の兆しが見えず

地域別物量の推移(中期レート換算)



日本 主要業種向けで不振が続くも
ロボット関連で販売増

米州 風力向け販売拡大も
建機、農機向けで需要減退

欧州 需要環境が悪化するも
風力や航空機向けが堅調

アジア他 需要環境が悪化する中
中国の風力、鉄道向けが健闘

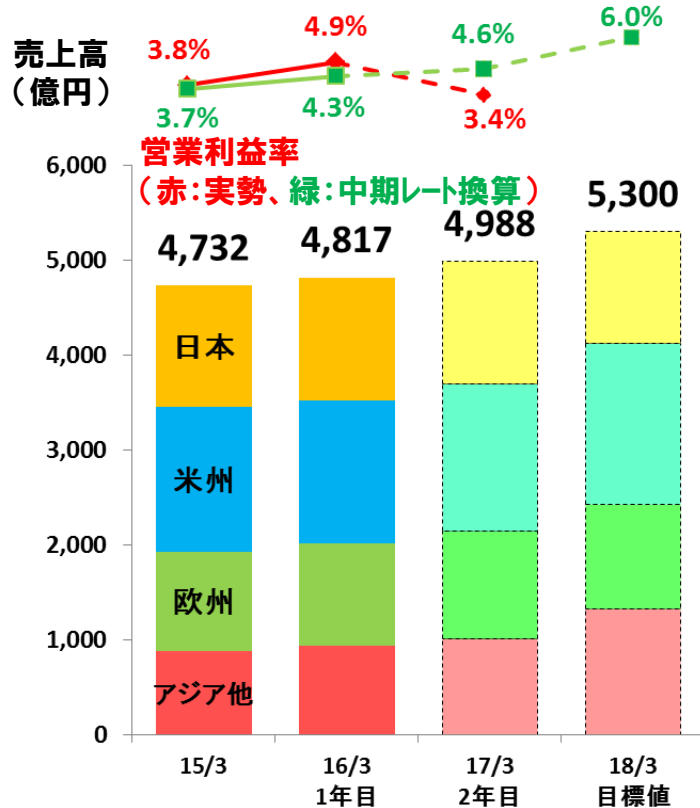
＜課題・取り組み＞

- ・ 中長期で成長が見込める風力・鉄道・航空機・ロボット分野へ技術部再編で拡販
- ・ 低シェア業種向けに複合材やCMSなど独自技術の活用で拡販

「NTN100」の進捗：自動車事業

＜進捗（物量ベース）＞販売・利益ともに当初計画通りに推移

地域別物量の推移(中期レート換算)



日本 生産台数は減るも販売は上向き

米州 ピックアップトラックやSUV向けが好調

欧州 主要顧客向け販売は順調に推移

アジア他 中国の小型車向け減税効果や新規案件獲得で大幅増

＜課題・取り組み＞

- ・ 収益改善に向けた営業活動の実行、新規案件のスムーズな立ち上げ
- ・ ドライブシャフトの収益拡大に向けた活動継続

自動車の電動化に対応した「電動モジュール商品」の拡大

→ドライブシャフトやハブベアリングに次ぐ、新たな収益源の確立を目指す

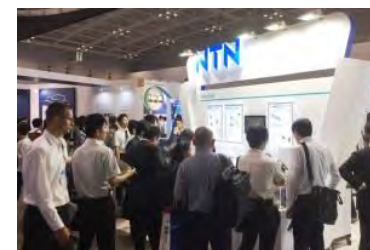
1. バイワイヤ制御に不可欠な「電動モータ・アクチュエータ」を発売(2016年5月)

エンジンやトランスミッションをはじめ多くの制御の電動化に対応



自動車のエンジンやトランスミッション

制御の電動化



「人とくるまのテクノロジー展」(2016)で多くの引き合い

2. 他社品と比較して、高い汎用性(標準化)や独自技術による小型化が強み



平行軸タイプや同軸中空タイプなど



高い汎用性(標準化によるシリーズ化)



小型化(薄型)

2025年度
売上高300億円
を見込む

自然エネルギー事業の進捗

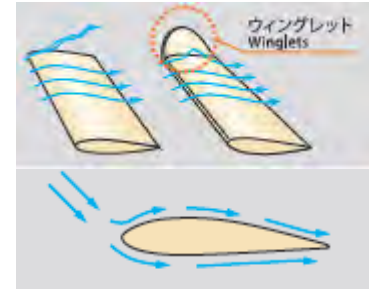
1. 革新的な“翼”技術を活用した新たな事業展開を推進
自然エネルギー分野向け事業化を推進
風力発電・水力発電・蓄電装置事業

2. 自然エネルギー商品(BtoC商品)の市場化

「ハイブリッド街路灯」： 2016年7月より販売中

「NTNマイクロ水車」： 2016年12月発売(*)

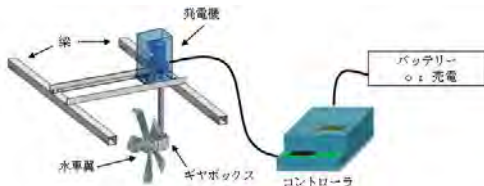
「小形風車」： 2018年初旬発売(*)



風切り音のない翼の形状



「NTNマイクロ水車」
(安積疏水で実証実験)



「小形風車」(10kW)
(NK認証取得予定)



「ハイブリッド街路灯」(販売中)



グローバル統制とリスク管理の強化(進捗)

1. サプライチェーンCSRの推進

人権・労働慣行、環境、腐敗防止など社会的な課題への対応

＊国連グローバルコンパクト10原則を支持

調達基本方針の下、取引先さまに、説明会やホームページを通して対応を依頼

＊CSR調達ガイドライン、NTNグリーン調達基準書に基づいた対応

＊紛争鉱物使用の調査や、不使用に向けた取り組み

2. 「法令遵守」の徹底

「コンプライアンス委員会」、「公正取引監察委員会」による法令遵守の徹底

海外出向者、子会社経営者へのコンプライアンスとマネジメント教育を実施

海外地区内部統制課と「CSRグローバル会議」を開催し、

グローバルで内部統制を強化



CSRグローバル会議

3. 「リスク管理」の体制強化

データベースを構築し、「リスク管理委員会」でグローバルにリスクの発生防止・軽減

「事業継続計画(BCP)」の制定から、「事業継続管理(BCM)」の推進

4. 経営基盤の強化に向けた投資

IT基幹システム再構築のための無形固定資産投資(75億円)

「NTN 100」の進捗： 財務基盤の強化：実績と見通し

For New Technology Network



1. 資産効率の向上	2016年3月期 実績	2017年3月期 通期見通し	2018年3月期 NTN100 3年間
	有利子負債の削減(為替影響除く)	262億円削減	123億円削減
在庫削減(在庫回転率)	4.0回転/年	4.0回転/年	4.5回転/年
設備投資	363億円	763億円/2年間	1,350億円/3年間
資産売却	活用見込みのない資産の売却		
FCF	125億円	170億円	670億円/3年間
自己資本比率	29.2%	27.8%	30.0%以上
ネットD/Eレシオ	1.1	1.2	1.0以下
ROE	6.3%	1.4%	14%超

2. 売上高利益率の向上	2016年3月期 実績	2017年3月期 通期見通し	2018年3月期 NTN100 3年間
	営業利益率	6.7%	4.6%

3. 株主還元	2016年3月期 実績	2017年3月期 通期見通し	2018年3月期 NTN100 3年間
	配当	年間10円 配当性向35%	年間10円 配当性向177%

I. 「NTN 100」の進捗

II. 2017年3月期第2四半期決算と見通し

III. 質疑応答

II. 2017年3月期 第2四半期決算と見通し

2016年11月7日

NTN株式会社

・本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

・これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

★2017年3月期 第2四半期決算のポイント

1. 連結損益
2. 地域別売上高
3. 事業形態別売上高・営業利益
4. 事業形態別業績（四半期推移）
5. 営業利益増減
6. 所在地別 売上高・営業利益
 - (1) 日本・米州
 - (2) 欧州・アジア他
7. 棚卸資産
8. 有利子負債
9. 設備投資・減価償却費
10. キャッシュ・フロー

2017年3月期 第2四半期の実績

◇売上高：3,268億円

・前年同期比△339億円の減収(除く為替では+45億円、+1.2%の増収)

◇営業利益：158億円

・前年同期比△90億円の減益(除く為替では△10億円、△3.9%の減益)

◇経常利益：115億円

・前年同期比△65億円の減益(除く為替では+12億円、+6.8%の増益)

◇親会社株主に帰属する四半期純利益：61億円

・前年同期比△43億円の減益(除く為替では+8億円、+8.1%の増益)

◇フリーキャッシュ・フロー：137億円、前年同期比+35億円の増加

・在庫削減、設備投資抑制等により、前回公表の年間100億円を上回る。

2017年3月期の業績予想を修正

- ◇売上高：**6,500億円**、前回公表6,900億円から**△400億円**
 - ・△400億円の内、為替影響が△242億円。
 - ・日本以外の海外各地域で前回公表に対し減収。
- ◇営業利益：**300億円**、前回公表350億円から**△50億円**
 - ・△50億円の内、為替影響が△49億円。
 - ・前回公表に対し固定費を低減し、減益幅を抑制。
- ◇特別損益：**△90億円**、前回公表は特別損益なし
 - ・下期に体質改善関連費用等を計上の見通し。
- ◇親会社株主に帰属する当期純利益：
30億円、前回公表160億円から**△130億円**
- ◇配当については、年間**10円**(中間・期末ともに**5円**)を予定。
- ◇下期為替レート：1US\$=**100円**(前回公表105円)、1EURO=**110円**(同120円)。
- ◇フリーキャッシュ・フロー：**170億円**、前回公表から**+70億円**

1. 連結損益

単位：億円

	前期('16年3月期)			今期('17年3月期)		対前期増減 '17年3月期上期 ②-①	
	上期 実績 ①	下期 実績	通期 実績	上期 実績 ②	通期 見通し	除く為替	為替
売上高	3,608	3,562	7,170	3,268	6,500	45	△ 384
営業利益 (営業利益率)	248 (6.9%)	230 (6.4%)	478 (6.7%)	158 (4.8%)	300 (4.6%)	△ 10 -	△ 80 -
経常利益	180	202	382	115	220	12	△ 77
特別損益	-	△ 113	△ 113	△ 1	△ 90	△ 1	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	104	46	150	61	30	8	△ 51
為替 US\$	121.9	118.4	120.2	105.2	102.6	△ 16.7	-
レ - ト EURO	135.1	130.1	132.6	118.0	114.0	△ 17.1	-

2. 地域別売上高

単位：億円

	前期('16年3月期)			今期('17年3月期)		対前期増減 '17年3月期上期 ②-①	
	上期 実績 ①	下期 実績	通期 実績	上期 実績 ②	通期 見通し	除く為替	為替
日本	946	949	1,896	928	1,875	△ 19	-
米州	1,082	1,044	2,125	934	1,845	3	△ 151
欧州	847	844	1,690	752	1,490	18	△ 112
アジア他	733	726	1,459	655	1,290	43	△ 121
合計	3,608	3,562	7,170	3,268	6,500	45	△ 384

3. 事業形態別売上高・営業利益

<事業形態別売上高>

単位：億円

	前期('16年3月期)			今期('17年3月期)		対前期増減 '17年3月期上期 ②-①	
	上期実績 ①	下期実績	通期実績	上期実績 ②	通期見通し	除く為替	為替
補修	583	553	1,136	507	1,010	△ 17	△ 59
産業機械	528	513	1,041	461	910	△ 21	△ 47
自動車	2,496	2,497	4,993	2,300	4,580	83	△ 279
合計	3,608	3,562	7,170	3,268	6,500	45	△ 384

<事業形態別営業利益>

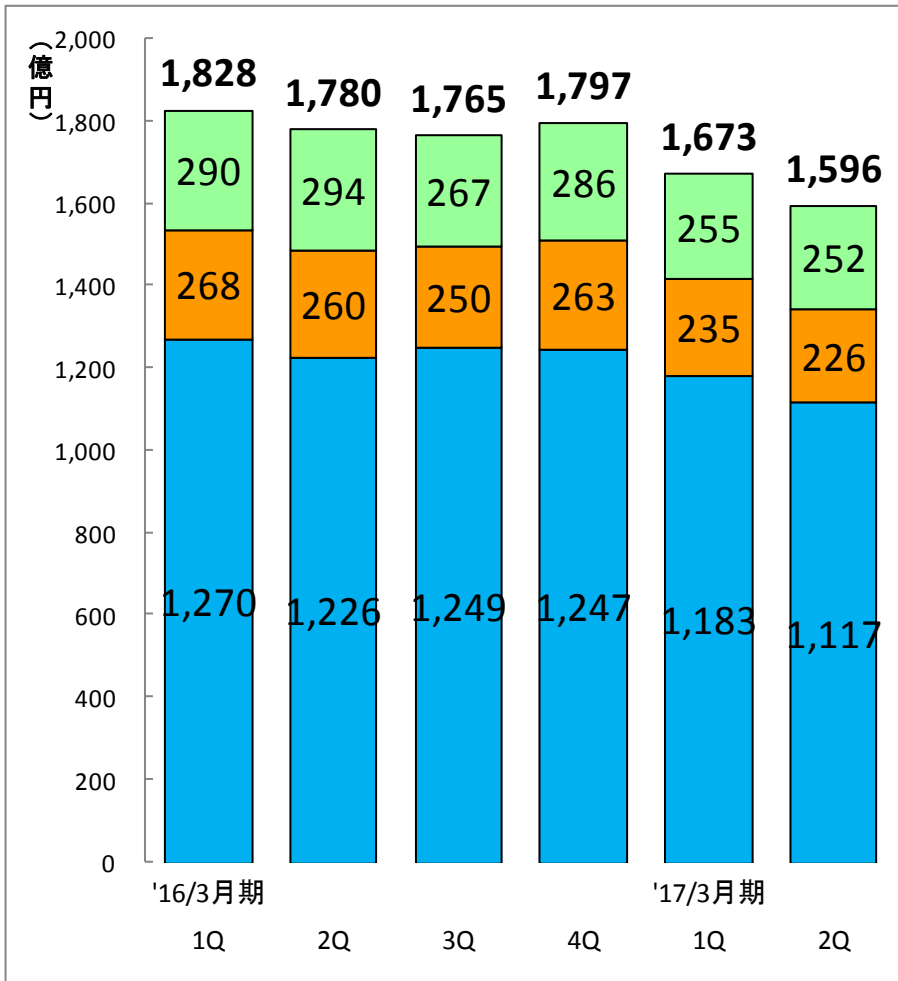
単位：億円

	前期('16年3月期)			今期('17年3月期)		対前期増減 '17年3月期上期 ②-①	
	上期実績 ①	下期実績	通期実績	上期実績 ②	通期見通し		
補修	95	82	177	67	140	△ 28	
産業機械	36	20	56	4	5	△ 32	
自動車	117	127	244	88	155	△ 30	
合計	248	230	478	158	300	△ 90	

4. 事業形態別業績(四半期推移)

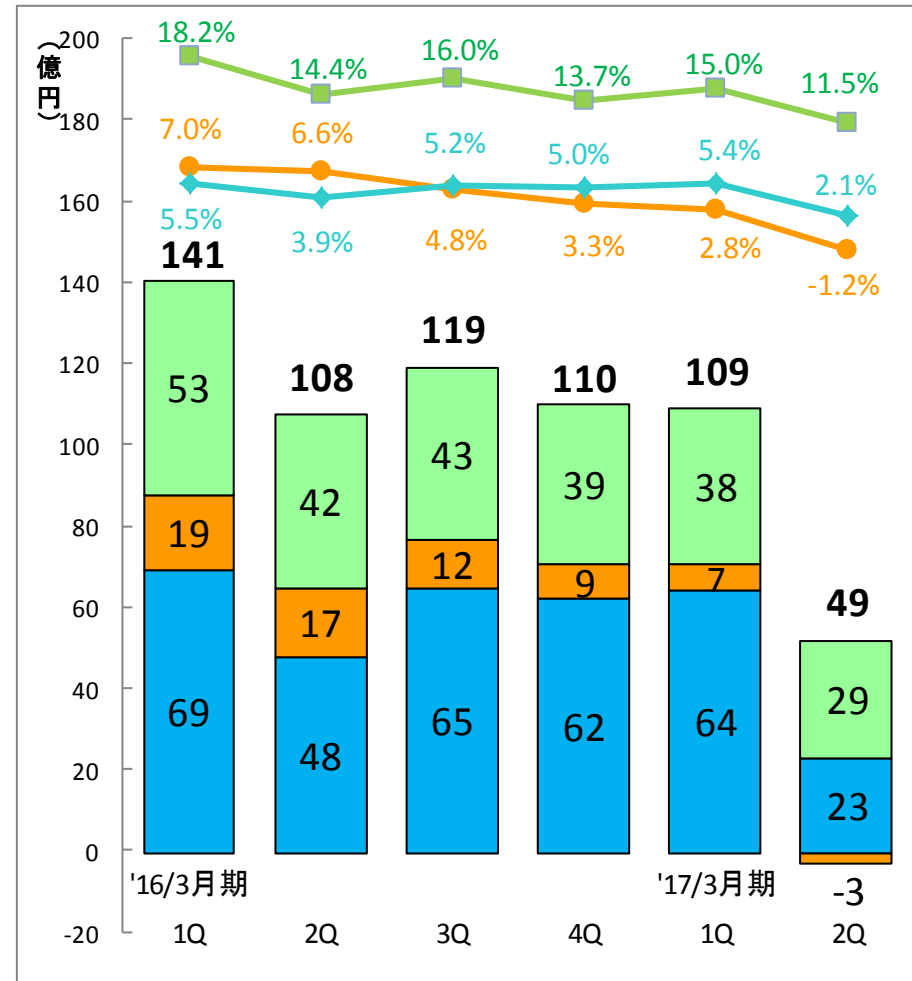
売上高

自動車 産業機械 補修

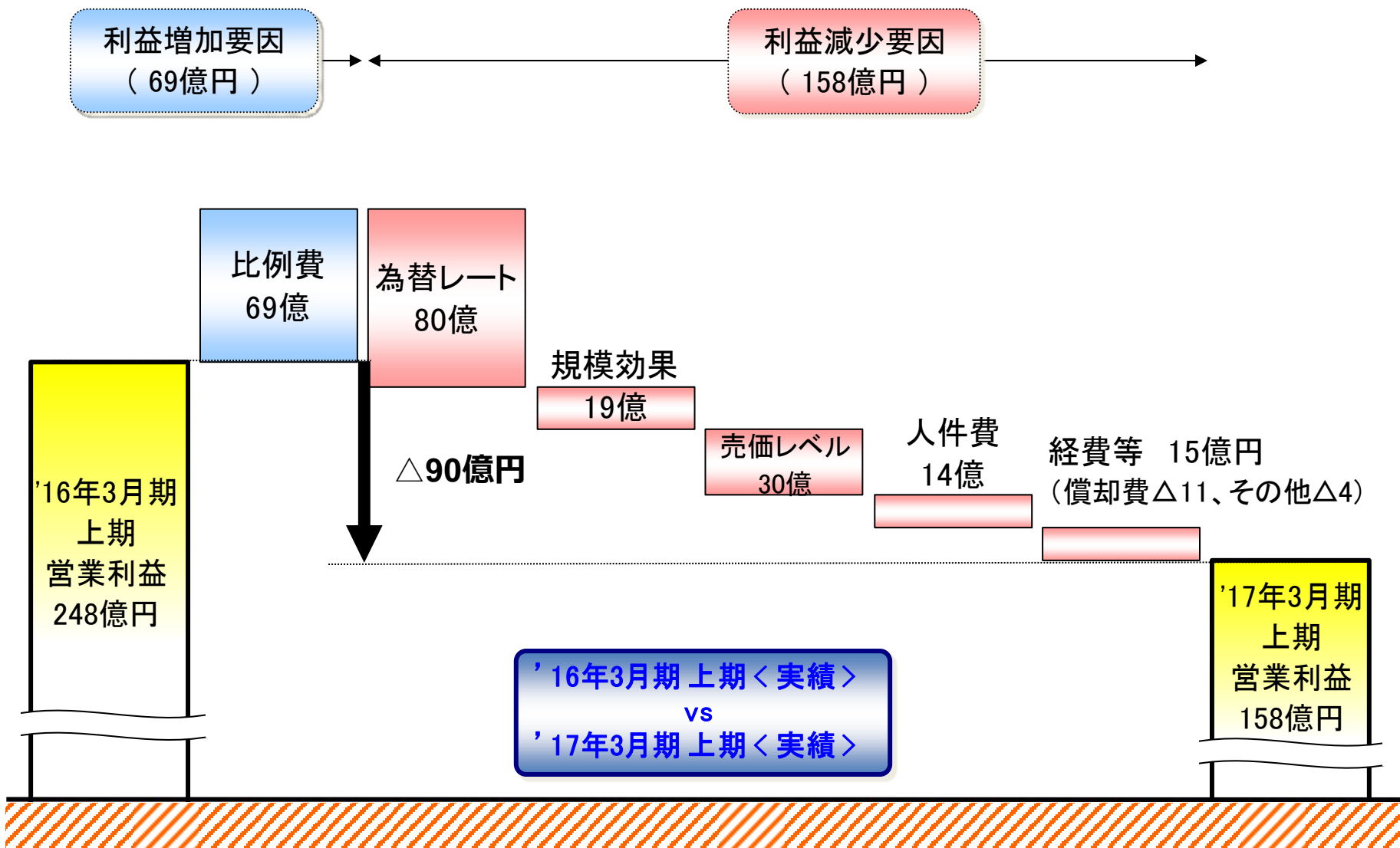


営業利益/営業利益率

自動車 産業機械 補修



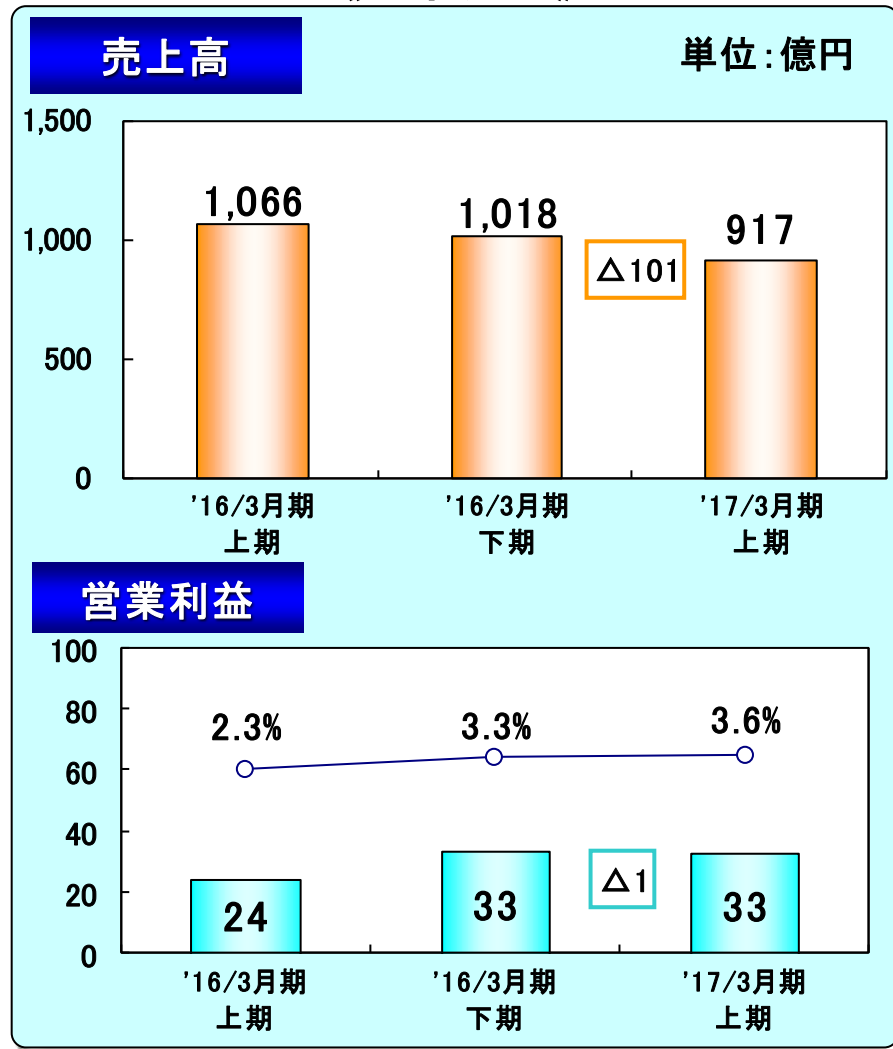
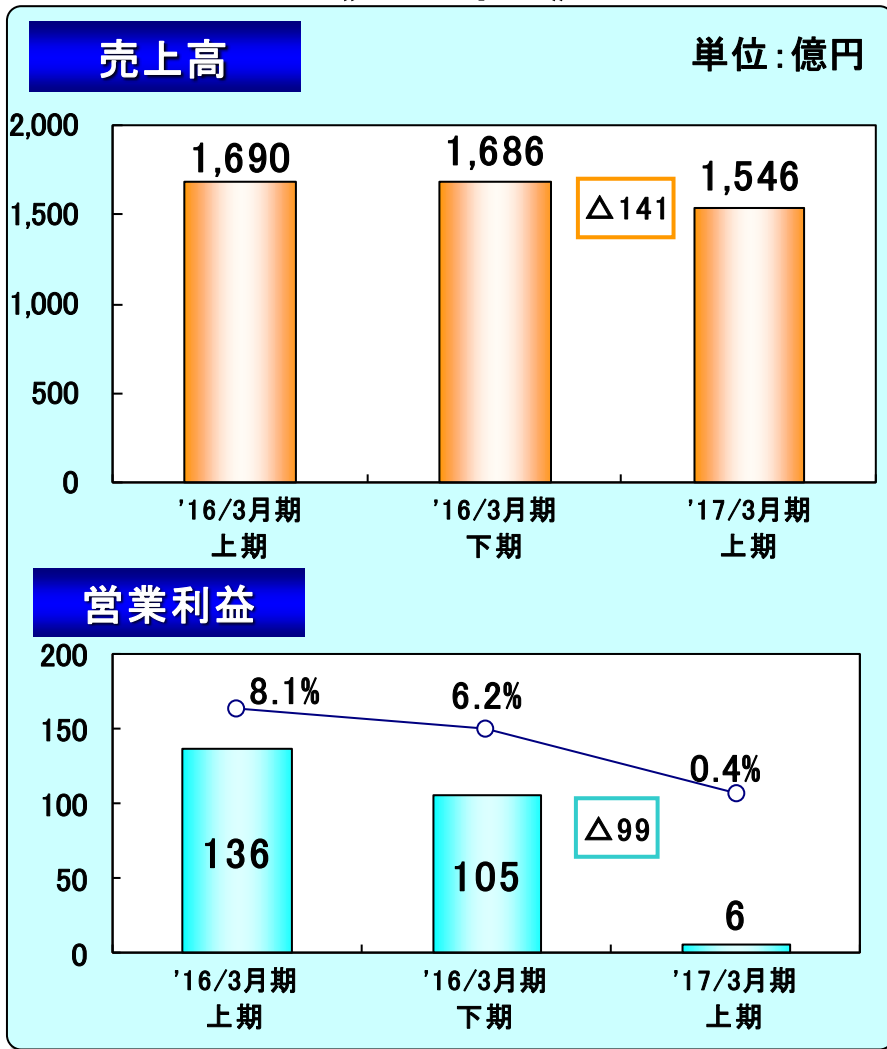
5. 営業利益増減（'17年3月期 上期）



6. 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

《 日本 》

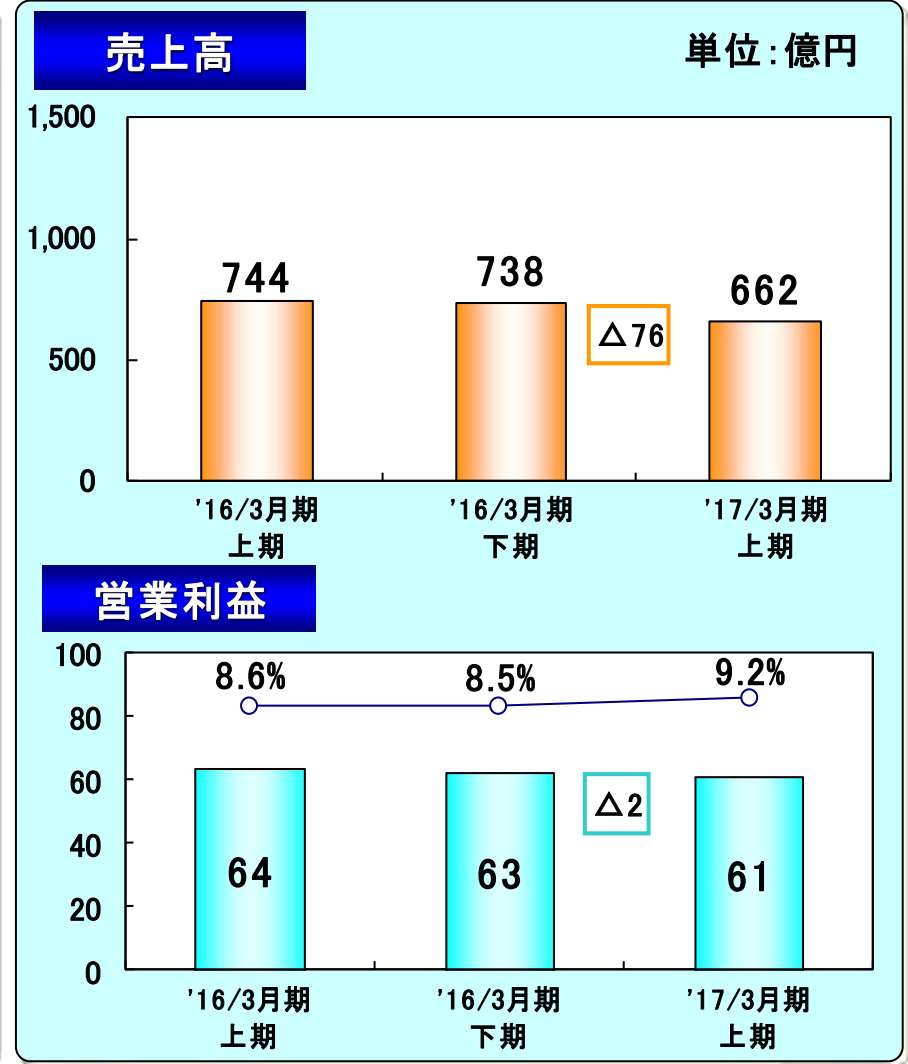
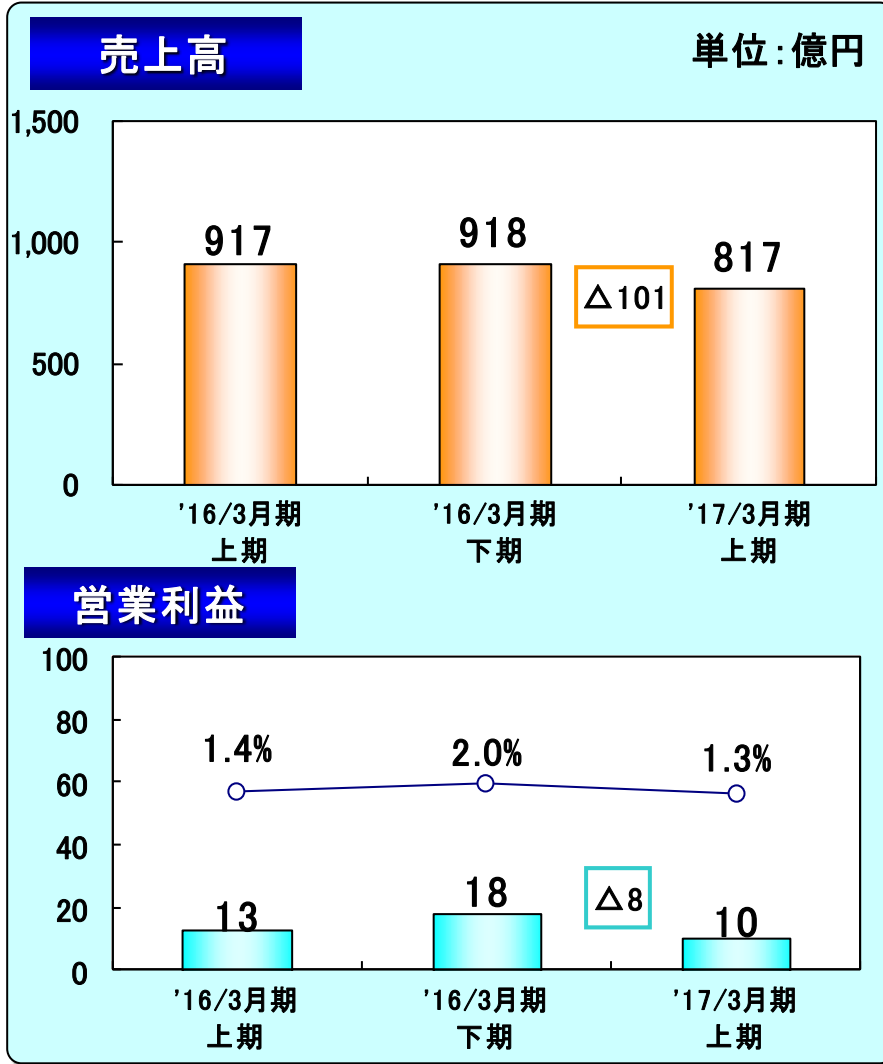
《 米州 》



6. 所在地別 売上高・営業利益（欧州・アジア他）

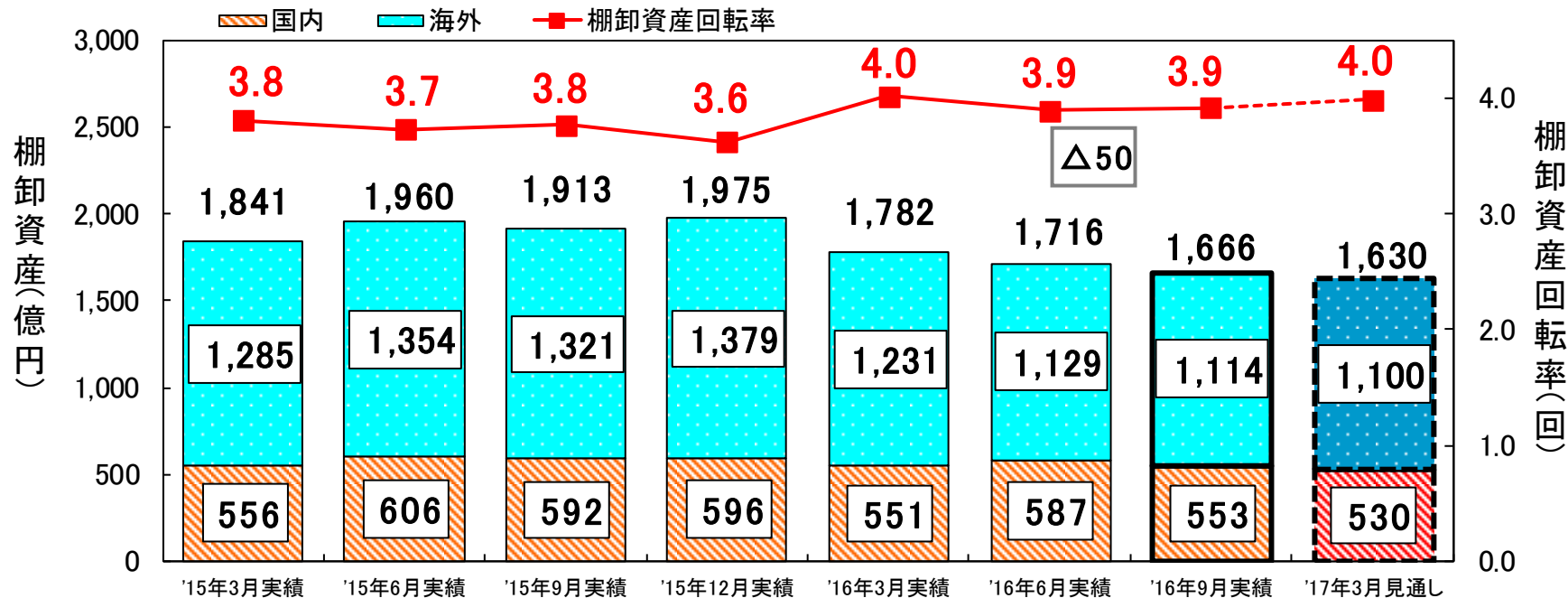
《 欧州 》

《 アジア他 》



7. 棚卸資産

◆ '16年9月末の棚卸資産は、6月末比50億円減少（除く為替では33億円減少）。

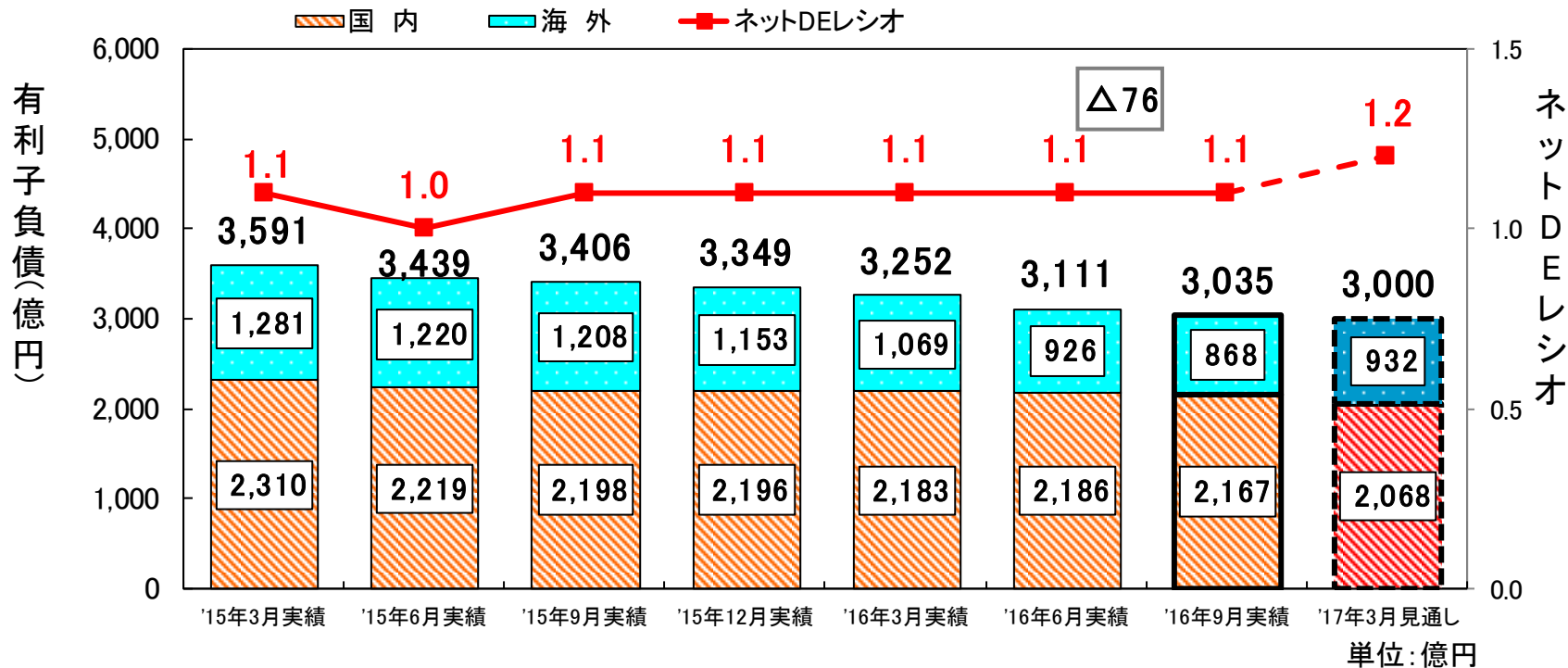


単位: 億円

	'15年3月 実績	'15年6月 実績	'15年9月 実績	'15年12月 実績	'16年3月 実績	'16年6月 実績	'16年9月 実績	'17年3月 見通し
棚卸資産	1,841	1,960	1,913	1,975	1,782	1,716	1,666	1,630
（海外）	(1,285)	(1,354)	(1,321)	(1,379)	(1,231)	(1,129)	(1,114)	(1,100)
（国内）	(556)	(606)	(592)	(596)	(551)	(587)	(553)	(530)
棚卸資産回転率(回)	3.8回	3.7回	3.8回	3.6回	4.0回	3.9回	3.9回	4.0回

8. 有利子負債

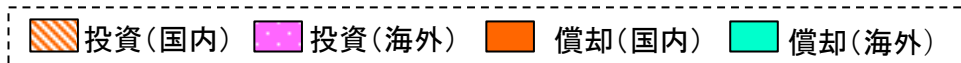
◆ '16年9月末の有利子負債は、6月末比76億円減少（除く為替では60億円減少）。



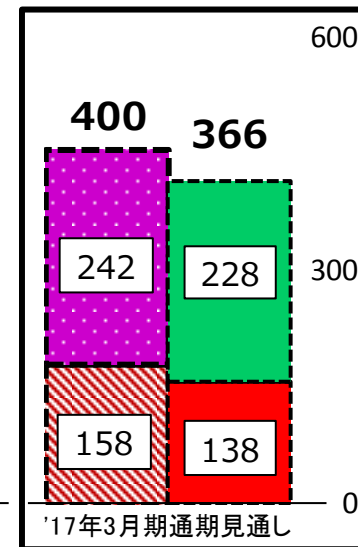
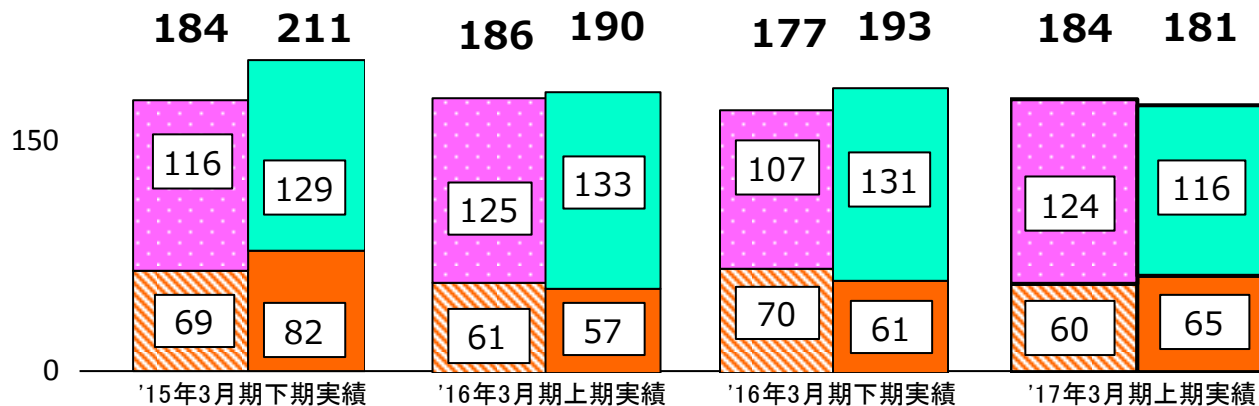
	'15年3月 実績	'15年6月 実績	'15年9月 実績	'15年12月 実績	'16年3月 実績	'16年6月 実績	'16年9月 実績	'17年3月 見通し
有利子負債	3,591	3,439	3,406	3,349	3,252	3,111	3,035	3,000
(海外)	(1,281)	(1,220)	(1,208)	(1,153)	(1,069)	(926)	(868)	(932)
(国内)	(2,310)	(2,219)	(2,198)	(2,196)	(2,183)	(2,186)	(2,167)	(2,068)
ネット有利子負債	2,713	2,663	2,613	2,719	2,579	2,432	2,380	2,440

9. 設備投資・減価償却費

(単位: 億円)



300



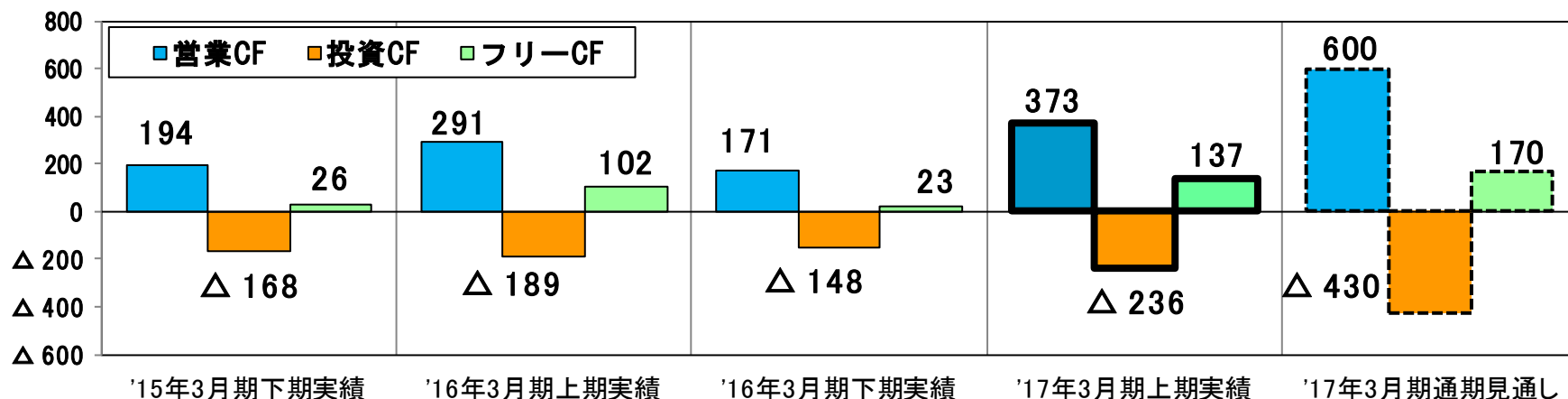
単位: 億円

	'15年3月期	'16年3月期		'17年3月期	'17年3月期
	下期実績	上期実績	下期実績	上期実績	通期見通し
設備投資	184	186	177	184	400
(海外)	(116)	(125)	(107)	(124)	(242)
(国内)	(69)	(61)	(70)	(60)	(158)

	'15年3月期	'16年3月期		'17年3月期	'17年3月期
	下期実績	上期実績	下期実績	上期実績	通期見通し
減価償却費	211	190	193	181	366
(海外)	(129)	(133)	(131)	(116)	(228)
(国内)	(82)	(57)	(61)	(65)	(138)

10. キャッシュ・フロー

(単位:億円)	'15年3月期 下期実績	'16年3月期		'17年3月期 上期実績	'17年3月期 通期見通し
		上期実績	下期実績		
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	194	291	171	373	600
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△168	△189	△148	△236	△430
I + II. フリーキャッシュ・フロー	26	102	23	137	170
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	△276	△212	△67	△129	△248
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	17	26	△76	△26	△35
V. 現金及び現金同等物の 増減額	△234	△85	△120	△18	△113



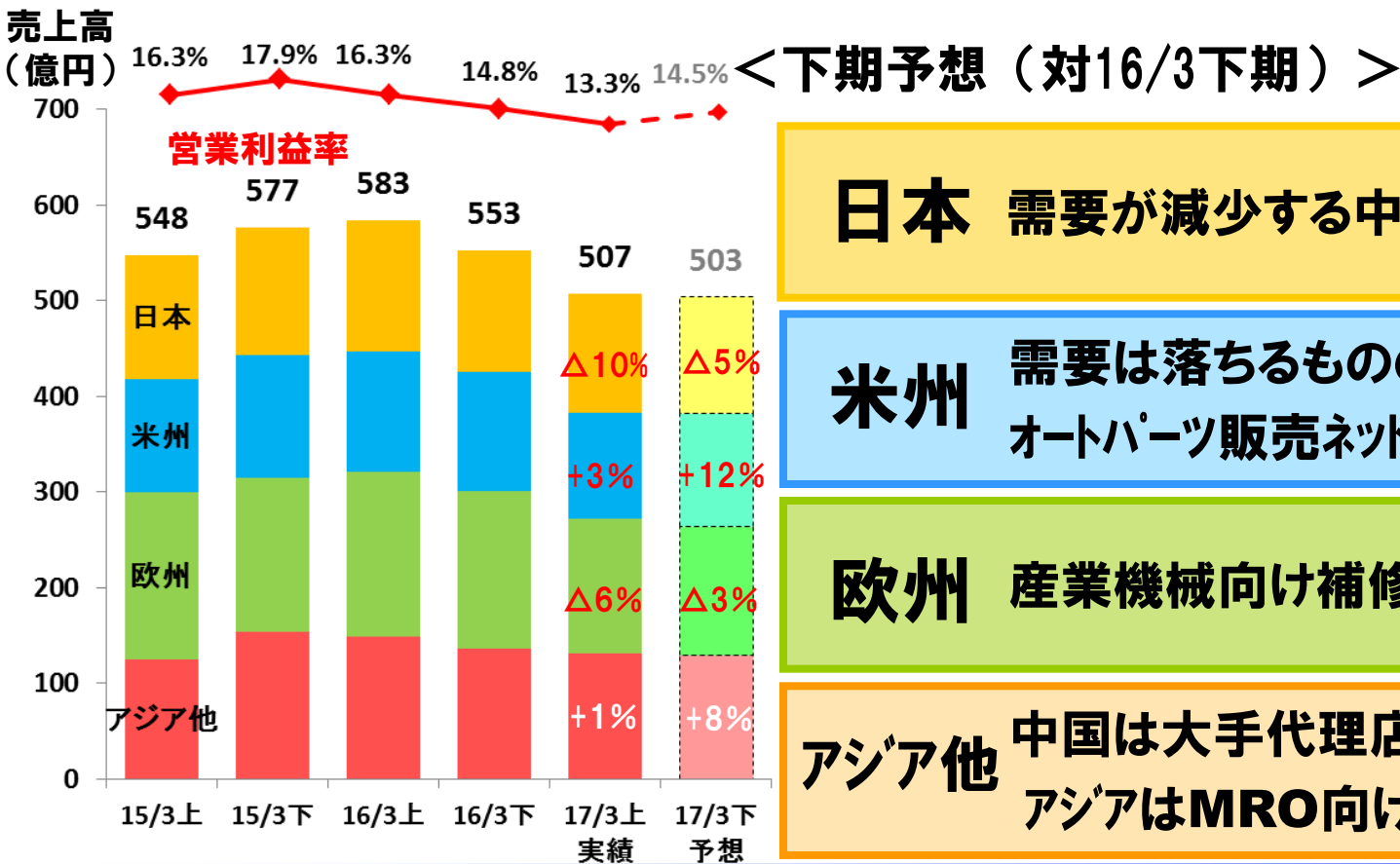
（ご参考）

**事業形態別販売の上期実績と下期予想に
関する地域別の主な増減コメント**

アフターマーケット事業：上期実績と下期予想

<上期実績 (対16/3上期)> **売上高507億円 (-13.1%)**, **営業利益67億円 (-29.3%)**

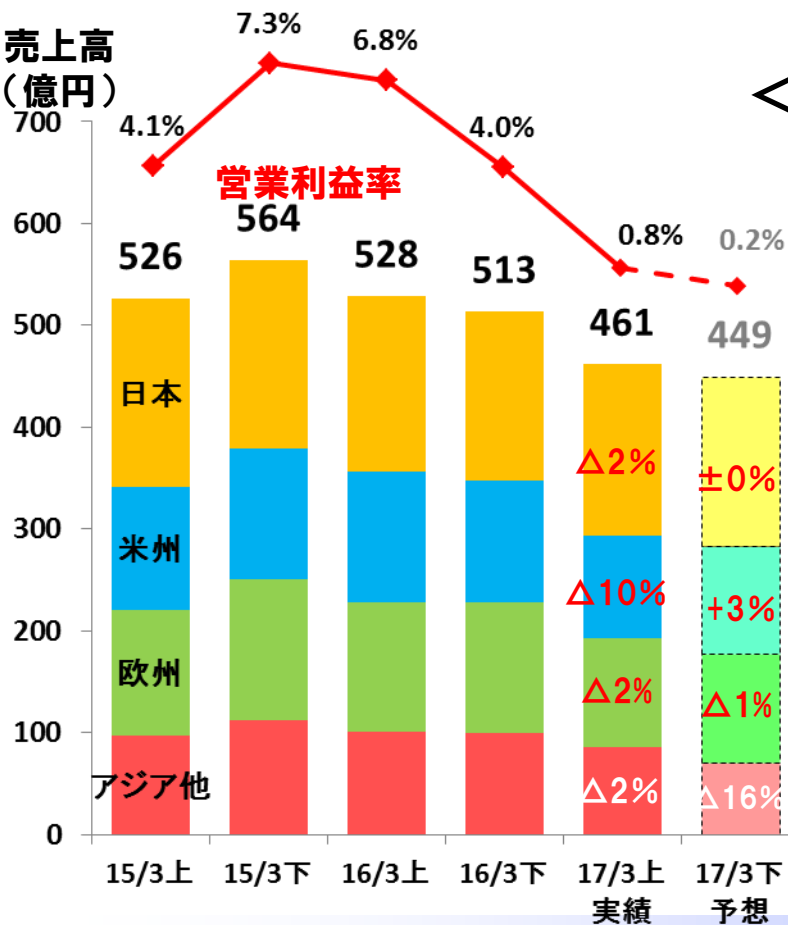
- ・ 日本は産業機械向け補修の需要減少、米州はオートパーツの販路拡大で増加
- ・ 欧州は産業機械向け補修の不振で減少、アジア他はMRO向け増加



産業機械事業：上期実績と下期予想

<上期実績 (対16/3上期)> **売上高461億円 (-12.7%)**, **営業利益4億円 (-89.6%)**

- ・日本は建設機械向け需要減少が継続。工作機なども減少。
- ・米州は建設機械や農業機械向けが低迷、欧州や中国は風力向けが需要減



<下期予想 (対16/3下期)>

日本

建設機械は油圧ショベルが回復傾向
航空機は防衛需要増、ロボット需要増

米州

建設機械向けは顧客の補修パーツ
在庫調整の終了に伴う需要増

欧州

風力向けは一部案件終了による減
航空機はエンジン・プロペラ向け需要増

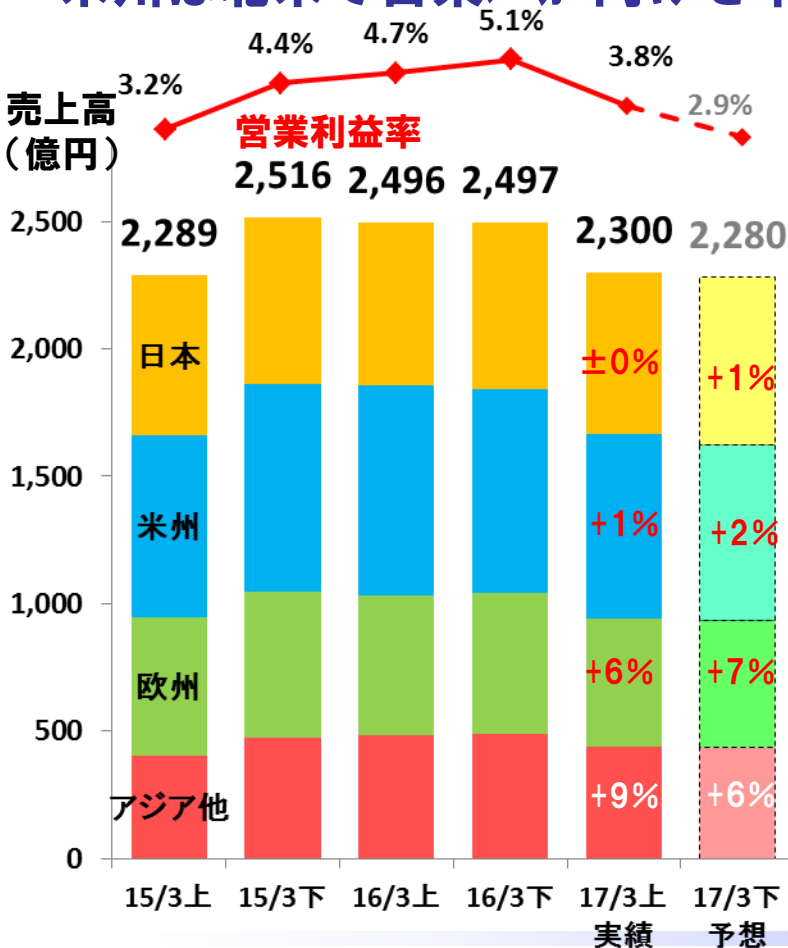
アジア他

中国の風力向けは電力買取価格低下
や設置規制強化による需要減

自動車事業：上期実績と下期予想

<上期実績 (対16/3上期)> **売上高2,300億円 (-7.9%)**, **営業利益88億円 (-25.5%)**

- ・ 日本は熊本地震や燃費不正、軽自動車低迷があるも北米向け輸出増で横ばい
- ・ 米州は北米で日系メーカ向けを中心に増加、欧州・中国・アジアは堅調



<下期予想 (対16/3下期)>

日本	新モデルや主力車種向けで販売増加を見込む
米州	一部車種の在庫調整による減産あるもSUV・ピックアップなどが増加し横ばい
欧州	安定した生産台数の増加により全体では底堅い販売が続く
アジア他	中国は新モデル向けなどで増加 アセアンの一部地域で需要が減少

We make
Bearings.



For New Technology Network
NTN[®]
NTN株式会社
www.ntn.co.jp